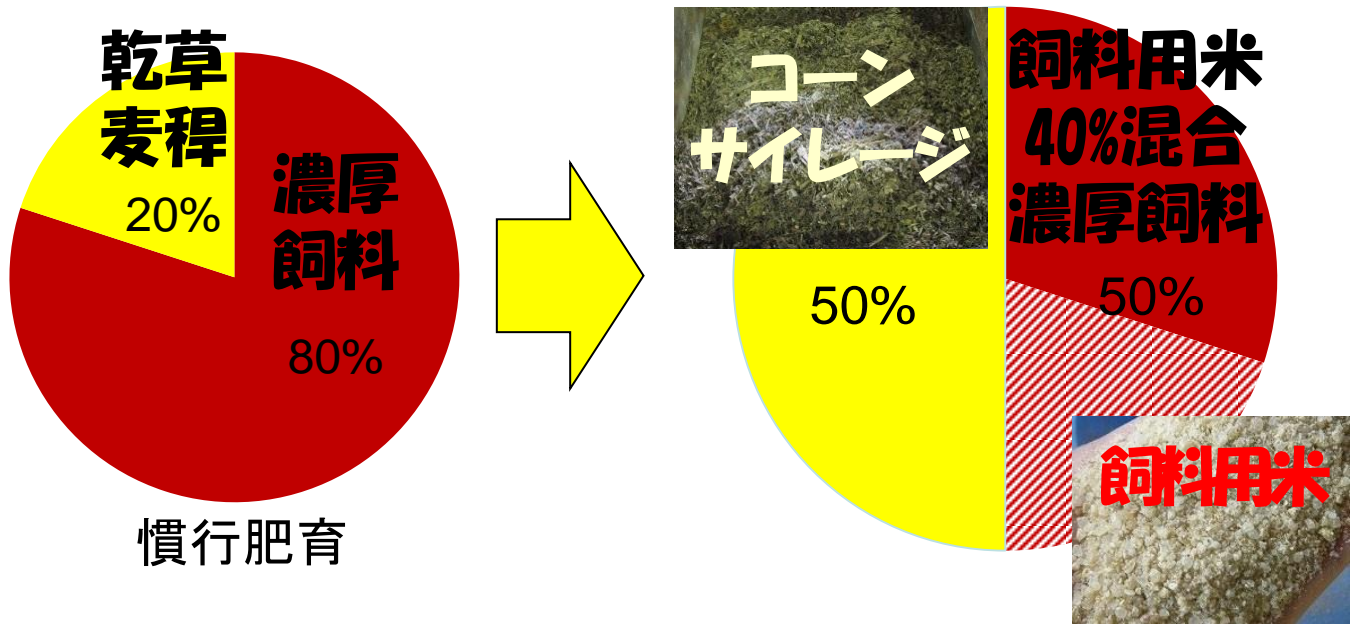


黒毛和種去勢牛における破碎玄米と コーンサイレージ給与による肥育技術

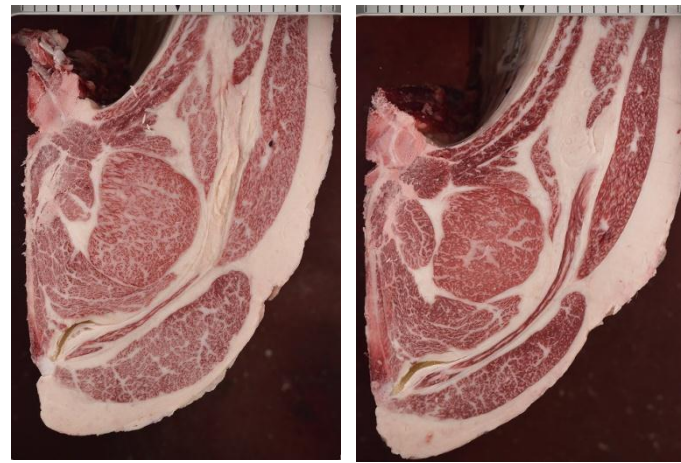
目的と特徴

- ・飼料用米とコーンサイレージを利用して輸入飼料を削減することにより、飼料自給率の向上を目指します。
- ・粗飼料としてコーンサイレージを給与することで濃厚飼料給与量を低減するとともに、濃厚飼料の40%を破碎玄米で置き換えました。
- ・慣行肥育と遜色ない枝肉成績が得られる自給飼料主体肥育技術を開発しました。

コーンサイレージと飼料用米給与により、飼料自給率**70%**を達成



採食性も良く、増体も良好



慣行肥育と同等の枝肉成績

成果

- ・飼料用米とコーンサイレージ利用により、飼料自給率70%で黒毛和種生産が可能となります。
- ・コーンサイレージ多給でも枝肉脂肪は黄色化せず、慣行肥育と同等の枝肉成績が得られます。

濃厚飼料給与量は、対照区の60%に制限

月齢		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
試験区	濃厚飼料	3	3.6	4.2	4.8	5.4	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	粗飼料	トウモロコシサイレーズ不断給与																		
対照区	濃厚飼料	5	6	7	8	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	粗飼料	乾草不断給与									麦稈不断給与									

濃厚飼料の40%を飼料用米で代替

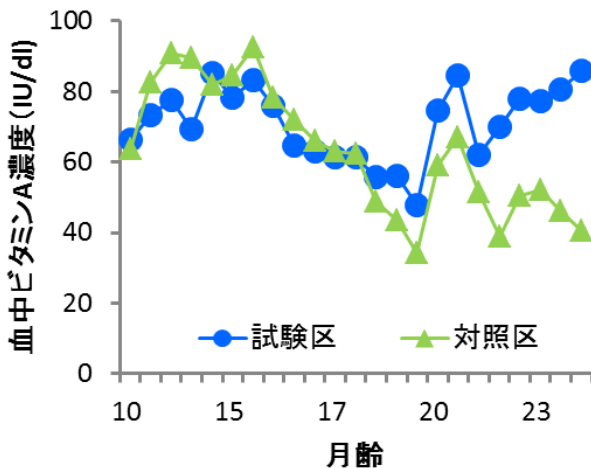
	試験区	対照区
破碎玄米	40.0	-
とうもろこし(非加熱粉碎)	15.0	50.0
圧ぺん大麦	3.0	10.0
フスマ	18.5	18.5
大豆粕ミール	9.5	9.5
コーングルテンフィード*	3.0	3.0
スクリーニングペレット	10.0	8.0
炭酸カルシウム	0.5	0.5
食塩	0.5	0.5
DM(%原物)	86.1	86.8
CP(%乾物)	15.9	16.0
NDF(%乾物)	21.0	26.4

採食量、増体とも対照区と同程度

	試験区		対照区	
頭数(頭)	6		3	
体重(kg)				
開始時(10ヵ月齢)	318.3		313.7	
終了時(28ヵ月齢)	819.3		802.0	
日増体量(kg)				
前期	1.12		1.14	
中期	0.92		0.97	
後期	0.87		0.80	
全期	0.97		0.94	
乾物摂取量(kg/頭/日)	粗飼料	濃厚飼料	粗飼料	濃厚飼料
前期	4.7	3.5	2.7	6.0
中期	4.2	5.0	0.8	8.5
後期	4.9	4.9	1.1	8.5
全期	4.6	4.4	1.6	7.7

前期:10~15ヵ月齢、中期:16~21ヵ月齢、後期:22~28ヵ月齢

血中ビタミンA濃度は適正值で推移



枝肉成績も遜色なし！！

	試験区	対照区
頭数(頭)	6	3
枝肉重量(kg)	511.2	507.7
ロース芯面積(cm ²)	61.5	59.7
ばらの厚さ(cm)	8.2	8.1
皮下脂肪厚(cm)	2.9	3.7
BMS No.	6.3	5.3
BCS No.	3.7	4.0
締まり	3.7	3.3
きめ	3.8	4.0
BFS No.	3.0	3.0
格付	A5:1頭 A4:3頭 A3:2頭	A4:1頭 A3:1頭 A2:1頭

対象作物、普及対象

- ・黒毛和種肥育牛、全国

対象農家

- ・肥育農家

関連HP (成果情報)

<http://www.agri.hro.or.jp/sintoku/>

その他

- ・収穫調整時期によって、コーンサイレーズ中のβ-カロテン含量が変動するため、β-カロテン含量が高い場合は、給与量や給与時期に注意が必要です。